報道関係各位

2026年9月9日

京都女子大学 社会のための女子大学 教員ニュースレター



「答えを教えないAI」で子供の思考力を引き出す。

発達教育学部教育学科　教授　坂井（さかい）　武司（たけし）

文科省生成AIパイロット校（沖縄）での算数授業と、幼児期の国際ICT交流（京都×シンガポール）

コメントできる研究領域

- 算数・数学教育
- 幼児教育
- 教員養成
- ESD教材

京都女子大学は、教員の研究活動や社会連携など“社会のための女子大学”の姿をお伝えするニュースレターを発信しています。今回は、「答えを教えない生成AI」を使った算数授業の実証実験や、幼児期のICTによる国際交流など、テクノロジーを活用して次世代の学びをアップデートする教育学科の坂井武司教授をご紹介します。

■答えは教えず「考え方」を導く。文科省パイロット校で挑む生成AI（Gemini）の算数授業

教育現場における生成AIの利活用が急務となる中、坂井教授は文部科学省から「生成AIパイロット校」の認定を受ける沖縄県嘉手納小学校の教員と連携し、算数授業での実践研究を進めています。児童が使用するのは、Googleの「Gemini」を独自にカスタマイズした「Gem」です。最大の特徴は「正解を聞かれても、答えそのものは絶対に教えない」こと。正解に至る思考のプロセスやヒントを提示する「思考の伴走者」としてAIを機能させることで、児童が自力で課題を解決し、友達へ分かりやすく説明する主体的な学びを引き出しています。

■テクノロジーで「質の高い教育」をすべての子どもへ

本研究の根底にあるのは、「質の高い教育をあらゆる子どもに届けたい」という坂井教授の強い信念です。優れた指導者を育てるには長い年月を要しますが、テクノロジーであれば即座に個人の手元へ届けることができます。坂井教授は、実証実験を経て精査したAIのカスタマイズ用プロンプト（指示文）と「児童向け生成AI利用ガイドライン」の無償公開を目指しています。地域や環境を問わず、誰もが質の高い教育にアクセスできる未来の実現を見据えた取り組みです。

さらに幼児教育の分野でもICTを活用。シンガポールのTemasek（テマセック）幼稚園と京都幼稚園を結ぶ「Through Your Eyesプロジェクト」を主導しています。園児自らがカメラマンとなって「自分の大切にするもの」を撮影・共有。相手国の子どもたちが撮った作品を鑑賞し、抱いた感想やインタビュー動画を記録して送り合うことで、国や文化による視点の違いに気づき、幼少期からの国際理解と共感の心を育んでいます。

■今秋、沖縄と京都で取り組みを公開

これらの最先端の取り組みは、今秋に現場公開を迎えます。嘉手納小学校での生成AI活用・プロトタイプ授業はに実施を予定（9月、10月、12月）。

また京都幼稚園では10月に、写真展を開催し、作品を鑑賞した子どもたちのリアルな反応や感想メッセージを動画に収め、シンガポールへと届ける国際交流の現場を公開します。教育とテクノロジーが融合する最前線の取り組みに、ぜひご注目ください。

坂井　武司（さかい・たけし）　Profile　https://gyouseki-db.kyoto-wu.ac.jp/kywuhp/KgApp/k03/resid/S001731

略歴　1973年生まれ。2008年兵庫教育大学学校教育研究科 教科・領域教育専攻 修士修了、2015年甲南大学自然科学研究科 知能情報学専攻 博士後期課程 修了。小学校教諭、鳴門教育大学大学院学校教育研究科准教授、京都女子大学発達教育学部教育学科准教授などを経て、2019年より現職。

論文　『幼児教育におけるパターン認識を育む保育の開発に関する研究』（共著/2026年/研究紀要Vol.8）

『関数指導に関する日本とシンガポールのカリキュラム・教科書の比較研究』（共著/2024年/研究紀要Vol.6）

著書　『実践事例で学ぶ生成AIと創る未来の教育』（分担執筆/2024年/東洋館出版社）

『未来を拓くICT教育の理論と実践』（分担執筆/2024年/東洋館出版社）

＜本件に関する報道関係者の皆様からのお問合せ先＞

・京都女子大学入試広報課　岡橋・亀井・竹縄　TEL：075－531－7054　FAX：075－531－7222

・京都女子大学広報デスク（ラプレ内）　香川・田村　TEL：06-4708-3766　E-mail:pr@raple.co.jp

・京都女子大学ＨＰ　https://www.kyoto-wu.ac.jp